



平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 九州電力株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 瓜生 道明
(コード：9508 東証第一部、福証)
問 合 せ 先 原子力発電本部 原子力企画グループ長 本田 光生
T E L . (0 9 2) 7 6 1 - 3 0 3 1

川内原子力発電所 1 , 2 号機特定重大事故等対処施設 設置工事に関するお知らせ (固定資産の取得)

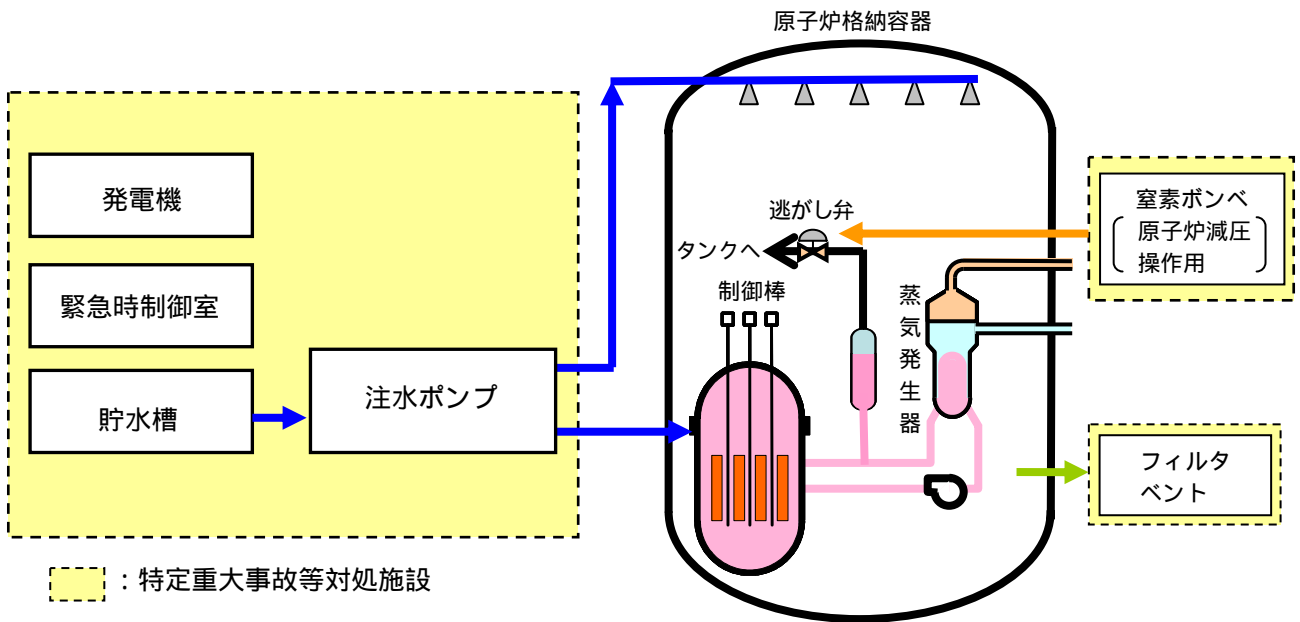
当社は、平成 29 年 7 月 31 日に開催した取締役会において、川内原子力発電所での特定重大事故等対処施設の設置工事に関する決議を行い、当該工事に伴う固定資産の取得を決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、平成 29 年 2 月 17 日に行った同件名でのお知らせにおいて、工事に要する資金が約 1,800 億円であること等を開示しておりましたが、今回、本件工事の費用等を精査のうえ、固定資産の取得及びその価額を取締役会で決定したことから、あらためて開示を行うものです。

記

- 1 . 特定重大事故等対処施設設置工事 (1 号炉及び 2 号炉) の理由
「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第 43 条の 3 の 6 第 1 項第 4 号の規定に基づき、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第 42 条で設置を定められているため。
- 2 . 特定重大事故等対処施設設置工事 (1 号炉及び 2 号炉) の内容
 - (1) 所 在 地：鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山 1765 番地 3
 - (2) 固定資産の取得価額：約 2,200 億円
 - (3) 施 設 概 要：(別紙参照)
 - 貯水槽及び注水ポンプ
 - フィルタベント
 - 窒素ポンベ (原子炉減圧操作用)
 - 発電機
 - 緊急時制御室
 - (4) 工 期：平成 32 年に使用開始予定
- 3 . 今後の見通し
本件が当社の平成 30 年 3 月期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上



特定重大事故等対処施設の概要図

フィルタベント

原子炉格納容器内の圧力が異常に上昇した場合、原子炉格納容器の損傷を防止するため、その内部の蒸気を放出（ベント）し、圧力を低減するとともに、大気中に放出される放射性物質を低減させる装置